



実践クラブ
もりぞの こうたろう
森園 浩太郎 議員

新型コロナウイルス感染症

Q 島原半島でPCR検査を受けられる施設は何か所あるのか？

A 帰国者・接触者外来は島原半島に現在3か所。

Q 検査は無症状でも受けることは可能か？基準や検査費用は？

A 長崎大学病院では出張や渡航、その他証明書の発行が必要とされる場合、唾液によるPCR検査が受けられる。料金は証明書代込みで、3万3千円。保健所による紹介の場合は行政検査。

Q 感染予防を前提に経済交流活動を。自分で検査ができる抗体検査キットを、島原半島入口や観光施設など、県外からの来島者、出張がある企業、更には各世帯に配布する感染防止策を検討し活用してみてもどうか？

A 抗体検査キットについては、価格や証明度合いなどを調査したい。

Q コロナ関連のデマや差別、誹謗中傷について、人権侵害に対し市独

自の対策は？島原市公式LINEの更なる活用を。

A 県では人権侵害に関する専門相談窓口を設置。本市にも市民相談センターがあるので、解決に向けたアドバイスや関係機関と連携して対応したい。SNSは、いい情報を発信するには効果がある。情報発信に努めたい。

市民の声から

Q ①島原工業高校の上の道路は通学路でもあり、早急に横断歩道の設置を。

②北門交差点の信号機について、海側から走行してきた場合、右折がしにくいので対策を。

③防災行政無線の放送が聞き取りにくいので対策を。

④11月22日に島原市長選挙が告示されるが、古川市長は次の4年間も引き続き全力投球される考えか？

A ①本年度中に設置すると聞いている。

②右折渋滞の調査をしてもらい、緩和策を協議したい。

③防災メールに加え、市公式LINEを活用した情報の発信をしている。

④実行中の様々な事業があるので、それに正面から向き合い進めていきたい。島原市長選挙に三度立候補の決意をし、表明する。



バラの会
ほんだ みえ
本田 みえ 議員

コロナ感染症流行禍の行政はどうかあるべきか

Q 長期化に備えた対応など今後の対策はどうするのか。

A 島原市が主催する諸行事の開催等については、国内や県内半島内の感染拡大状況を注意しつつ、感染防止対策を講じた上での開催方法や感染リスクなど、関係団体の皆様と十分協議を重ねた上で、総合的に判断をし、実施の可否について決定している。

市民音楽祭は無観客で、その様子をケーブルテレビ等で撮影し、放送する予定である。

障がい者も健常者も安心して暮らせるまちづくりを

Q 中心市街地、市全体でなされている対策は。

A 歩道の段差、点字ブロック、トイレなど、障害がある方々の声を反映すべく、都市整備、福祉行政に採用してきた。

Q ドイツのパラ陸上選手団を受け入れる意義は。

A 不自由だけでも夢を持って取り組む姿勢、社会教育、生涯教育の見るべき価値があると思っている。

Q パラ陸上選手団受け入れに対して、バリアフリー化等予定はあるか。

A トイレなど指摘を受けた点は、迎える以上は改良すべき。投資リスクは、住民や利用者へ還元できる。

移動手段のない市民をどう救う

Q コミュニティバスの運行状況と今後の課題は。

A 一カ月あたりの稼働率は三倉線14.4%、大三東三倉線4.5%、有明線20.2%、全体13%、1便当たりの乗車人員1.4人。

Q 安中・白山地区の運行計画に対するバスの購入台数は。

A 3台購入予定。

Q 予約システムが面倒。国道以外は予約なしでも乗れるフリー乗車区間にして、常に走らせ市内中心部までの運行を要望する。

【その他の質問項目】

◇市体育館、エアコンの設置の進捗

状況